

ひょうごカルチャーパス

# 施設利用のご案内

2024年4月

公益財団法人 兵庫県国際交流協会

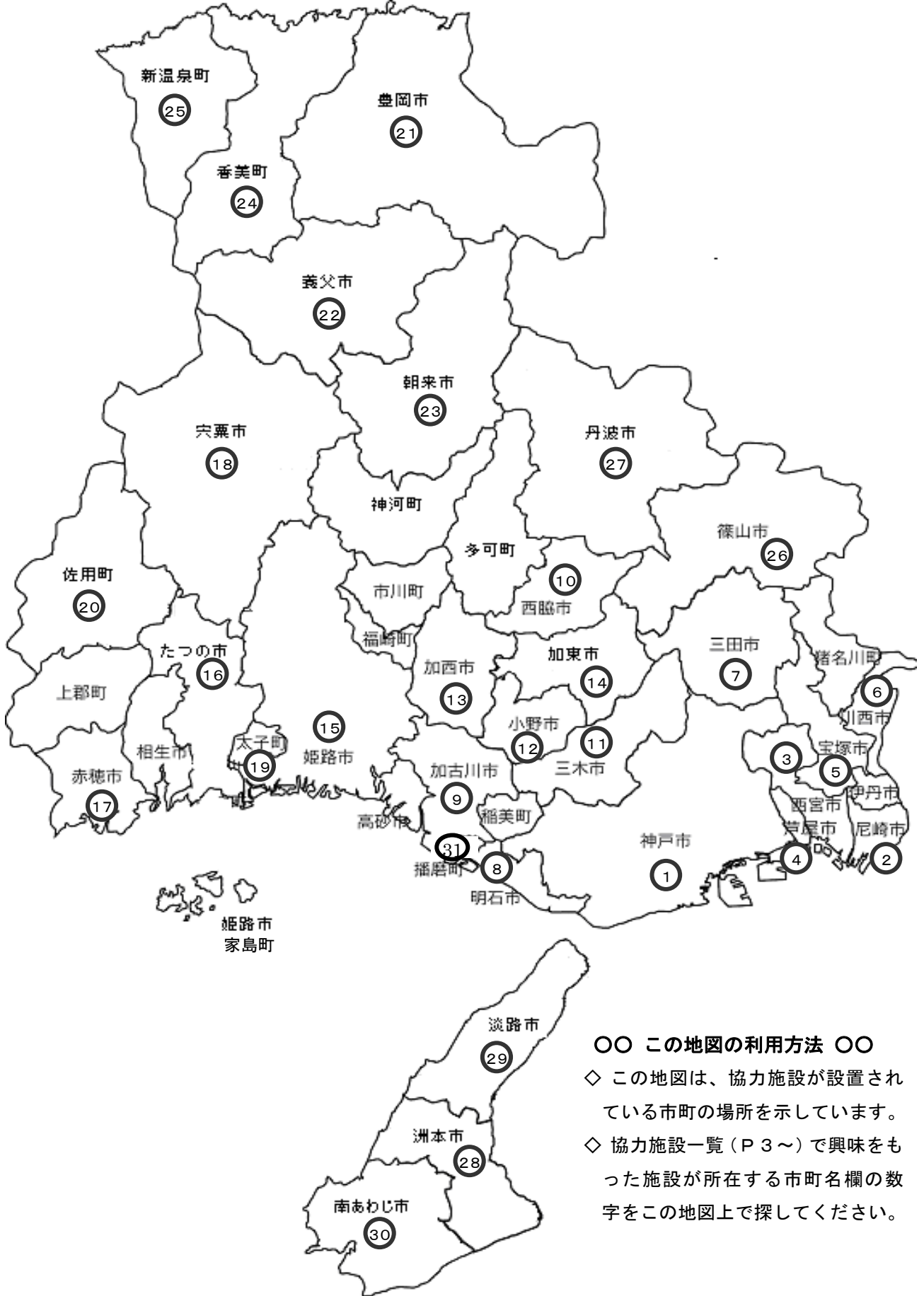
# 留学生の皆さんへ

兵庫県では、県内の大学院、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校、日本語学校、高等学校等に通学されている留学生の皆さんが、県内の歴史・文化施設などに無料または割引で入場できる制度「ひょうごカルチャーパス」を実施しています。

この制度は、留学生の皆さんが歴史・文化施設を通じ、兵庫県あるいは日本に対して理解と親しみを深めていただくこと、兵庫県、県内各市町、私立の各施設のご協力を得て、実施するものです。次の事項に気をつけ、ひょうごカルチャーパスを使ってぜひ兵庫県内を探検してみてください。

- 各施設に入場する時は、必ずひょうごカルチャーパスと学校の学生証を提示してください。
- 施設によっては、常設展示のみ無料であったり、入場料の一部をいただく施設がありますので、3ページ以降の協力施設一覧でよく確かめてから、ご利用ください。
- この制度は、留学生本人のみが利用できます。
- 各施設へ問い合わせする場合、日本語以外で対応できない場合がありますので、日本語が話せる友人などに協力してもらって問い合わせてください。

ひょうごかるちゃーパス きょうりょくしせつのしょざいしちょう  
 ひょうごカルチャーパス協力施設の所在市町



- 〇〇 この地図の利用方法 〇〇
- ◇ この地図は、協力施設が設置されている市町を示しています。
  - ◇ 協力施設一覧(P 3~)で興味をもった施設が所在する市町名欄の数字をこの地図上で探してください。

## R5 ひょうごカルチャーパス協力施設一覧

	施設名称／所在地・電話番号	開館時間 【通常の入場→春月後の入場】	休館日	行き方	紹介
<b>神戸市</b> ①	こうえきさいだんほうじん はくつるびじゅつかん <b>公益財団法人 白鶴美術館</b> 神戸市東灘区住吉山手6-1-1 Tel. 078-851-6001	10時～16時30分 (入館は16時まで)  <b>【500円→無料】</b>	月曜日(祝日の場合は翌日)  開館期間外、 ・3月初旬～6月初旬(春季展) ・9月下旬～12月初旬(秋季展)	○阪神「御影(みかげ)駅」下車、バス(10分)「白鶴美術館前(はくつるびじゅつかんまえ)」下車すぐ ○JR「住吉(すみやし)駅」下車、バス(7分)「白鶴美術館前(はくつるびじゅつかんまえ)」下車すぐ ○阪急「御影(みかげ)駅」下車、徒歩15分	本館:白鶴西造七代嘉納治兵衛が昭和9年に完成開館した私立美術館の先駆けともいえる美術館。収蔵品の中心は中国と日本の古美術品。  新館:主にオリエント絨毯を所蔵・展示している。
	よこおただのりげんだいびじゅつかん <b>横尾忠則現代美術館</b> (兵庫県立美術館 王子分館) 神戸市灘区原田通3-8-30 Tel. 078-855-5607	10時～18時 (入場は閉館の30分前まで) <b>【大学生550円→無料】</b>	月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始(12月31日～1月1日) メンテナンス休館(不定期)	○阪急電車王子公園駅西口より西に徒歩約6分 ○JR灘駅北口より北に徒歩約10分 ○阪神電車岩屋駅(県立美術館前)より北に徒歩約12分	兵庫県西脇市出身で、国際的にも評価の高い美術家、横尾忠則氏からの寄贈・寄託作品を中心とした多彩な展覧会を開催し、4階の「横尾忠則コレクションギャラリー」では、収蔵品展を開催します。また、横尾氏に関する資料を保管・調査するアーカイブルーム、多彩な横尾グッズを取り扱うミュージアムショップも備え、横尾ワールドを堪能していただけます。
	ひょうごけんりつびじゅつかん けいじゅつのやかた <b>兵庫県立美術館</b> —「芸術の館」— 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 Tel. 078-262-1011	10時～18時 (入場は閉館の30分前まで)  <b>【コレクション展:大学生400円→無料、特別展:有料→無料】</b>	月曜日(祝日の場合は翌日)  年末年始 詳しくはお問い合わせ下さい。	○阪神「岩屋(いわや)駅(兵庫県立美術館前 ひょうごけんりつびじゅつかんまえ)」下車、徒歩8分 ○JR「灘(なだ)駅」下車、徒歩10分 ○阪急「王子公園(おうじこうえん)駅」下車、徒歩20分	世界的建築家、安藤忠雄氏設計による西日本最大の美術館。10,000点を超える所蔵作品を順次公開。 また、美術作品の展示だけでなく音楽や映画などさまざまな芸術と融合したイベントも開催する。 ミュージアムロードの活性化を図り、地域の賑わいづくりを創出している。
	はんしんあわじだいいんさいきねん ひととほうさいみらいせんたー <b>阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター</b> 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 Tel. 078-262-5050 <a href="https://www.drine.jp/">https://www.drine.jp/</a>	9時30分～17時30分(入館は16時30分まで)  <b>【大学生450円→無料】</b>	月曜日(祝日または振替休日の場合は翌平日)  年末年始  GW期間中(4/28～5/5)は無休	○阪神「岩屋(いわや)駅」または「春日野道(かすがのみち)駅」下車、徒歩約10分 ○JR「灘(なだ)駅」下車、徒歩約12分	阪神・淡路大震災の経験と教訓を後世に継承し、国内外の災害による被害の軽減に貢献する施設。大人から子どもまで、実験やゲーム、防災学習/パソコン等を通して、防災・減災に関する知識を楽しみながら学ぶことができます。

	施設名称/所在地・電話番号	開館時間 【通常の入場→夜間後の入場】	休館日	行き方	紹介
神戸市 ①	こうえきざいざんほうじん たけなかけしゅうどうぐかん 公益財団法人 竹中大工道具館 神戸市中央区能楽町7-5-1 Tel 078-242-0216 https://dougukan.jp/	9時30分～16時30分(入館は16時まで)  【500円→無料】	月曜日(祝日の場合は翌平日)  12月29日～1月3日	○山陽新幹線「新神戸駅」中央改札口より徒歩約3分 ○市営地下鉄「新神戸駅」北出口2より徒歩約3分	竹中大工道具館は日本で唯一の大工道具の専門博物館。選りすぐった約1千点の大工道具のほか、吹き抜け空間に7メートルを越える高さでそびえ立つ原寸大の唐招提寺金堂の柱と組物、数寄屋の繊細な仕事が見える茶室の模造模型といった大型模型や多彩なハンズオン展示を設置。また、来館者が自身のスマホで常設展示案内を聞けるようになっている(日中英韓対応、同館のWi-Fiに接続する必要あり)。
	みなとかつじんじやほうもつでん 湊川神社宝物殿 神戸市中央区多聞通3-1-1 Tel 078-371-0001  ※令和6年度1月現在臨時休館中。 開館時期は未定。	休館中			
	こうべきたのびじゅつかん 神戸北野美術館 神戸市中央区北野町2-9-6 Tel 078-251-0581  ※令和6年度1月現在休館中。 開館時期は未定。	9時30分～17時30分(入館は17時まで)  【500円→無料】	第3火曜日  企画展等で開館有り 要問合せ	○JR、阪神、阪急「三宮(さんのみや)駅」下車、徒歩15分 ○地下鉄「新神戸(しんこうべ)駅」下車、徒歩8分	明治31年(1898年)に建てられた西洋館で、戦前はドイツ人が住んでいたが、昭和29～昭和62年(1954～87)までアメリカ合衆国の所有となり、アメリカ領事館の官舎として使用されていた建造物を美術館として開館しています。 フランス パリのモンマルトルの作家作品を常設展示しています。
	ゆーしーしーこーひーはくぶつかん UCCコーヒー博物館 神戸市中央区港島中町6-6-2 Tel 078-302-8880  ※休館中	10時～17時 (入館は16時30分まで)  【300円→無料】	月曜日(祝日の場合は翌日)  年末年始	○ポートライナー三宮(さんのみや)から北埠頭行きに乗車後、「南公園(みなみこうえん)駅」下車すぐ	日本で唯一のコーヒー専門博物館。六つのテーマ(起源、栽培、鑑定、焙煎、抽出、文化)による展示室からなり、コーヒーについて幅広くご紹介。様々なコーヒーを楽しめる喫茶室(別料金)も併設。
	こうべかきょうれきしはくぶつかん 神戸華僑歴史博物館 神戸市中央区海岸通3-1-1 KCCビル2階 Tel 078-331-3855	10時～17時 (最終入館16時30分)  【200円→無料】 ※特別展も無料	月、火、日、祝日、年末年始 (特別展開催期間中は日曜も開館)	○JR、阪神「元町(もとまち)駅」下車、徒歩10分	神戸在住の華僑の歴史を紹介。神戸港開港以来の記念写真や華僑に関する文献、書画、骨董(こっとう)を数多く収集、その一部を展示している。
	こうべ とんぼたまみゆーじあむ KOBE とんぼ玉ミュージアム 神戸市中央区京町79 日本ビルディング2F Tel 078-393-8500	10時～19時 (入館は18時45分まで)  【400円→300円】	年末年始	○JR、阪神電車、阪急電車各「三宮(さんのみや)駅」または、「元町(もとまち)駅」下車、各徒歩8分 ○神戸市営地下鉄・海岸線「旧居留地・大丸前(きゅうきよりゆうちだいまるまえ)」または、「三宮・花計前(さんのみやはなごけいまえ)」下車、各徒歩6分	とんぼ玉をはじめとした古代から現代までのランプワークといわれる技法で創られたガラス工芸作品を展示。とんぼ玉の制作体験もできます。

	施設名称/所在地・電話番号	開館時間 【通常の入場→夜明け後の入場】	休館日	行き方	紹介
神戸市 ①	そんぶんきねんかん(しじょうかく) 孫文記念館(移情閣) 神戸市垂水区東舞子町2051 Tel 078-783-7172	10時~17時 (最終入館16時30分)  【300円→無料】	年末年始(12月29日~1月3日)  月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)	○JR「舞子(まいこ)駅」下車、徒歩5分 ○山陽電鉄「舞子公園(まいここうえん)駅」下車、徒歩6分 ○駐車場有	昭和159年(1984年)に開設された中国の革命家・政治家・思想家である孫文を顕彰する日本で唯一の記念館。孫文と神戸のかかわりを中心に移情閣の変遷などに関する展示が行われており、平成13年に国の重要文化財に指定された。
	はしのかがかかん 橋の科学館 神戸市垂水区東舞子町4-114 Tel 078-784-3339 <a href="https://www.hashinokagakukan.jp">https://www.hashinokagakukan.jp</a>	9時15分~17時 (入館は16時30分まで) 通年  【310円→270円】	月曜日(祝日の場合は開館し翌日休、GWおよび夏季は無休)  12月29日~1月3日	○JR「舞子(まいこ)駅」下車、5分 ○山陽電鉄「舞子公園(まいここうえん)駅」下車、徒歩7分	「橋の科学館」では、「明石海峡大橋」の建設に使われた技術を模型、映像、パネルで紹介しています。 “3D シアター”では橋に関する映像を、“360° VR 体験コーナー”では橋の点検などが楽しめます。 “くつろぎのスペース”から見る明石海峡大橋も丘巻、日本の架橋技術のすごさを実感できます。
	ひょうごけんりつひょうごのつみゅーじあむ 兵庫県立兵庫津ミュージアム 神戸市兵庫区中之島2丁目2-1 Tel 078-651-1868	開館時間 <4月~9月> 9時~18時 <10月~翌3月> 9時~17時  【大学生200円→無料】 ※特別展、企画展についても無料	毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合は翌平日) 年末年始(12月31日、1月1日)	○神戸市営地下鉄海岸線「中央市場前(ちゆうおういちばまえ)駅」下車、徒歩5分 ○JR 神戸線「兵庫(ひょうご)駅」下車、徒歩20分	兵庫県発祥の地“兵庫津(ひょうごのつ)”に位置する兵庫県立兵庫津ミュージアムは、博物館施設である「ひょうごはじまり館」と最初の兵庫県庁舎の復元施設である「初代県庁館」の2館が一体となった新しいタイプの施設です。 兵庫津の歴史や兵庫県の成り立ち、県を構成する兵庫五国の魅力を多彩な映像や体験型のコンテンツなど様々な手法を使って発信しています。 従来の博物館とはひと味違う“ハミデルハクブツカン”です。
尼崎市 ②	ちかまつきねんかん 近松記念館 尼崎市久々知1-4-38 Tel 06-6491-7555	10時~16時 (入館は15時30分まで)  【大学生・高校生150円→無料】	水曜日、第2日曜日  8月13日~8月16日  12月29日~1月7日	○JR「塚口(つかぐち)駅」下車、南東へ徒歩15分 ○阪急「塚口(つかぐち)駅」、阪神「尼崎(あまがさき)駅」、JR「尼崎(あまがさき)駅」から阪神バス「近松公園前(ちかまつこうえんまえ)」下車すぐ	近松門左衛門の遺品約100点が展示されているほか、毎年秋に行われる「近松祭」では、近松作品の上映や地元の方による近松音頭の披露、市民ボランティアによる展示物紹介などあり。
西宮市 ③	にしのみやしおたにきねんびじゅつかん 西宮市大谷記念美術館 西宮市中浜町4-38 Tel 0798-33-0164	10時~17時 (入館は16時30分まで)  【大学生・高校生600円→無料】	水曜日(祝日の場合は翌日)  年末・年始および展示入替期間	○阪神「香櫨園(こうろえん)駅」下車、徒歩6分	近代絵画を中心とする美術品の展示のほか、年間数回の特別企画展を開催。
	にしのみやしあいかん 西宮市貝類館 西宮市西宮浜4-13-4 Tel 0798-33-4888	10時~17時 (入館は16時30分まで)  【200円→無料】	水曜日(祝日の場合は翌日)ただし夏休み中の水曜日は開館。  年末年始(12月29日~1月3日)	○阪神「西宮(にしのみや)駅」下車、バス(17分) 「マリナパーク南(まりなぱーくみなみ)」下車すぐ ○JR「西宮(にしのみや)駅」下車、バス(23分) 「マリナパーク南(まりなぱーくみなみ)」下車すぐ	貝類専門の博物館で、建物は建築家安藤忠雄氏の設計。ヨットの帆をイメージした外観を持ち、館内は海の中を思わせるブルーで統一されている。約2千種、5千点の貝の標本と大型パネルによる展示、「カタツムリウム」や西宮の海の生き物などの生体展示も楽しんでいただくことができます。

	施設名称/所在地・電話番号	開館時間 【通常の入場→宵明後の入場】	休館日	行き方	紹介
芦屋市 ④	あしやしりつびじゅつはくぶつかん 芦屋市立美術博物館 芦屋市伊勢町12-25 Tel 0797-38-5432	10時～17時 (入館は16時30分まで)  【200円→100円】 ※特別展は通常料金の半額	月曜日(祝日の場合は翌平日)  年末年始 展示入替期間	○阪神「芦屋(あしや)駅」下車、徒歩15分 ○阪神「芦屋(あしや)駅」下車、バス(5分)「緑町(みどりちよう)」下車、徒歩2分	芦屋ゆかりの作家の作品を中心に内外の名画、作品を展示。手作りマーケット「ART MARKET あしやつくるば」の開催やワークショップも行う。
	あしやしりつびじゅつはくぶつかん 芦屋市谷崎潤一郎記念館 芦屋市伊勢町12-15 Tel 0797-23-5852	10時～17時 (入館は16時30分まで)  【大学生・高校生200円→100円(特別展の場合も半額)】	月曜日(祝日の場合は翌日)  12月28日～1月4日 展示入替期間	芦屋市立美術博物館と同じ行き方。(美術博物館に隣接)	谷崎潤一郎に関する書籍や原稿、書簡、美術品などを収集し、展示。ロビーギャラリーでの展示や文学館講座も開いている。
	てきすいびじゅつかん 滴翠美術館 芦屋市山芦屋町13-3 Tel 0797-22-2228	10時～16時 (春季・秋季のみ開館、入館は15時30分まで)  【420円→無料】 ※陶芸一日体験教室 2割引き	月曜日  夏季・冬季	○阪急「芦屋川(あしやがわ)駅」下車、徒歩8分 ○JR「芦屋(あしや)駅」下車、バス(5分)「開森橋(かいもりばし)」下車、徒歩5分 ○阪神「芦屋(あしや)駅」下車、バス(10分)「開森橋(かいもりばし)」下車、徒歩5分	大阪財界で活躍された故山口吉郎兵衛(やまぐちきちろべえ)氏が収集した人形・かるた・羽子板類のコレクション及び陶器(特に京焼、紀州焼等)の古美術品等を収集。また美術館に併設して、周りの恵まれた自然環境の中で、土ひねりが楽しめる陶芸教室がある。
	きよきねんぶんがくかん 虚子記念文学館 芦屋市平田町8-22 Tel 0797-21-1036	10時～17時 (入館は16時30分まで)  【大学生1000円・高校生600円→無料】	月曜日  祝日・振替休日の翌平日  年末年始	○阪急「芦屋川(あしやがわ)駅」下車、南側5番のりばから阪急バス「テニスコート前(まえ)」下車、徒歩8分 ○JR「芦屋(あしや)駅」下車、北側5番のりばから阪急バス「テニスコート前(まえ)」下車、徒歩8分 ○阪神「芦屋(あしや)駅」下車、徒歩15分	俳人・高浜虚子の作品を常設展示。また、高浜虚子や俳句に関する調べものができる閲覧室もある。
宝塚市 ⑤	たからづかしりつてづかおさむきねんかん 宝塚市立手塚治虫記念館 宝塚市武庫川町7-65 Tel 0797-81-2970	9時30分～17時 (入館は閉館の30分前まで)  【大学生700円・高校生300円→無料】	令和5年4月まで： 水曜日 令和5年5月から： 月曜日 (祝日の場合、及び春・夏休み期間中は開館)  12月29日～31日  その他臨時休館日あり	○JR・阪急「宝塚(たからづか)駅」下車、徒歩10分 ○阪急「宝塚南口(たからづかみなみぐち)駅」下車、徒歩7分	手塚治虫のオリジナル作品をハイビジョンで楽しめる映像ホールや、アニメ制作が体験できるアニメ工房、手塚作品を楽しめるライブラリーや、アニメや情報を閲覧できる情報・アニメ検索機、常設・企画展示室などを配置。
川西市 ⑥	かわにしきょうどかん 川西市郷土館 川西市下町4-1 Tel 072-794-3354 <a href="https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/kyoiku/kyodokan.html">https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/kyoiku/kyodokan.html</a>	10時～16時30分 (入館は16時まで)  18歳を超えるもの【300円→無料】 18歳以下【150円→無料】	月曜日(祝日の場合は翌平日)  年末年始	○能勢(のせ)電鉄「山下(やました)駅」下車、徒歩15分	郷土館は、銅の製錬を生業としていた旧平安邸を利用し開館。敷地内には、移築・復元された洋館の「日平賀邸」、青木・平通両画伯記念館の「ミュージゼレスポール」、平通画伯のアトリエを再現した「アトリエ平通」がある。

	施設名称/所在地・電話番号	開館時間 【通常の入場→夜明け後の入場】	休館日	行き方	紹介
三田市 ⑦	ひょうごけんりつひととしぜんのはくぶつかん 兵庫県立人と自然の博物館 三田市弥生が丘6丁目 Tel 079-559-2001	10時～17時 (入館は16時30分まで) 【大学生150円→無料】	月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始 冬季に臨時休館日有り	○神戸電鉄「フラワータウン」駅下車すぐ ○神姫バス「フラワータウンセンター前」下車すぐ	人と自然との共生をテーマに、兵庫県下各地域の特色ある自然や地球上の生物の世界などを大型パネルや標本、映像、ジオラマなどで紹介。
明石市 ⑧	あかしりつぶんかまほくぶつかん 明石市立文化博物館 明石市上ノ丸2丁目13-1 Tel 078-918-5400 http://www.akashibunpaku.com	常設展・企画展期間中: 9時30分～17時30分 特別展期間中: 9時30分～18時30分 (入館は30分前まで) 【150円→無料】	月曜日(祝日及び特別展中は開館) 年末年始(12月29日～1月3日)	○JR・山陽電車「明石(あかし)駅」下車、徒歩5分	「自然環境と人々の暮らし」を中心に、明石のもつ歴史上の特色あるできごと、役割等を、8つのテーマごとに実物資料やパネル、標本で紹介。 体験学習室では、鎧(よろい)・十二単(じゅうにひとえ)の着付け体験ができる(事前申込受付制。詳しくは博物館まで)。
	あかしりつてんもんかかかかん 明石市立天文科学館 明石市人丸町2-6 Tel 078-919-5000 https://www.am12.jp/	9時30分～17時 (入館は16時30分まで) 【大学生700円→無料】 ※高校生以下無料  ※特別展も減免 但し、特別催事は減免対象外	月曜日・第2火曜日(祝日の場合は開館し、その翌日が休館) 年末年始	○山陽電車「人丸前(ひとまるまえ)駅」下車、徒歩3分 ○JR「明石(あかし)駅」下車、徒歩15分	1960年に日本標準時子午線上に建てられた「時と宇宙の博物館」。 プラネタリウムや展示室、天体観測室、14階展望室などがある。
加古川市 ⑨	あかりのかこりょうかん あかりの鹿児島資料館 加古川市加古川町粟津803-1 Tel 079-421-2191	10時～17時 【200円→無料】	土曜、日曜、 祝日、年末年始、 盆休み	○JR「加古川(かこがわ)駅」下車、バス(5分)「加古川簡易裁判所南(かこがわかんいさいばんしよみなみ)」下車すぐ	常設展示場では「江戸のあかりと明治の洋燈(らんぷ)」と題し、電気より前の時代に使われたあかりの道具を展示。特別展示場では、特別展や企画展を開催。
西脇市 ⑩	にしわきしおかのやまびじゅつかん 西脇市岡之山美術館 西脇市上比延町345-1 Tel 0795-23-6223	10時～17時 (入館は16時30分まで) 【200円→無料】 ※2020年4月1日より入館料改正。 ※特別展の場合は変更になります。	月曜日(祝日の場合は翌日) 祝日の翌日 年末年始(12月29日～1月3日) 展示替期間	○JR加古川線「日本へそ公園(にほんへそこうえん)駅」下車すぐ ○中国自動車「滝野社(たきのやしろ)」インターチェンジより車で15分	磯崎新氏設計による3両連結の列車をイメージした美術館。 本館ギャラリーでは現代美術作家の企画展覧会、併設のアトリエでは、地域の作家の個展等を開催。
	にしわきけいどちきゅうかかかかん てらどーむ にしわき経緯度地球科学館 「テラドーム」 西脇市上比延町334-2 Tel 0795-23-2772	10時～18時 (入館は17時30分まで) 【200円→無料】	月曜日(祝日の場合はその翌日) 年末年始	○JR加古川線「日本へそ公園(にほんへそこうえん)駅」下車、徒歩5分 ○中国自動車道「滝野社(たきのやしろ)」インターチェンジより車で15分	東経135度と北緯35度の交わる「日本のへそ」にあり、地球や宇宙について楽しく学べる科学館。81cm反射望遠鏡を備えた天文台では、晴れた日には昼間でも星を見ることができる。周辺には、遊具がいっぱいの「へそ公園」があり、親子で1日楽しめる。
三木市 ⑪	みきしりつほりみつびじゅつかん 三木市立堀光美術館 三木市上の丸町4-5 Tel 0794-82-9945	10時～17時 (入館は16時30分まで) 【無料 特別企画展:有料の場合あり】	月曜日 祝日の翌日 12月28日～ 1月4日	○神戸電鉄粟生(あお)線「三木上の丸(みきうえのまる)駅」下車、徒歩5分	1982年に堀田光雄氏(故人)が建物とコレクションを三木市に寄贈されて開館。堀光コレクション(日本画、洋画、書、美術工芸品)等を收藏。 特別展、企画展、アート・ティーン公募展等を開催。
小野市 ⑫	おのしりつこうかん 小野市立好古館 小野市西本町477 Tel 0794-63-3390	9時30分～17時 (入館は16時30分まで) 【200円(特別展300円)→無料】	月曜日(祝日の場合は翌日) 12月28日～ 1月4日	○神戸電鉄「小野(おの)駅」下車、徒歩3分	小野に人々が住み始めてからの足跡を時代の流れとともに紹介するとともに、小野の豊かな自然とそこにいきづく伝統産業や郷土が生んだ先人を紹介。



	施設名称/所在地・電話番号	開館時間 【通常の入場→夜明け後の入場】	休館日	行き方	紹介
加西市 ⑬	ひょうごけんりつふらわーせんたー 兵庫県立フラワーセンター 加西市豊倉町飯森1282-1 Tel 0790-47-1182	9時~17時 (入館は16時まで)  【大学生500円→無料】	水曜日(祝日の場合は翌日)  12月28日~ 1月2日  チューリップまつり、菊花展開催期間は無休。	○北条鉄道「北条町(ほうじょうまち)駅」下車、タクシーで15分 ○中国自動車道「加西(かさい)インターチェンジ」より車で5分	自然の森林に囲まれた園内には、中央に水鳥の遊ぶ亀の倉池、南国ムードあふれる大温室、季節の花が競う大小さまざまな花壇や樹木園では四季を通じて花や香りを楽しむことができる。
	ひょうごけんりつこうこはくぶつかん 兵庫県立考古博物館 かさいぶんかん こだいきょうてんじかん 加西分館「古代鏡展示館」 加西市豊倉町飯森 1282-1(兵庫県立フラワーセンター内) Tel 0790-47-2212	9時~17時 (入館は16時30分まで) (フラワーセンター入園は16時まで、退園は17時まで) 【大学生100円→無料】	水曜日(祝日の場合は翌平日) 年末年始 ※チューリップまつり、菊花展開催期間は無休 ※3月、9月、12月にメンテナンス休館	○北条鉄道「北条町(ほうじょうまち)駅」下車、タクシーで15分 ○中国自動車道「加西(かさい)インターチェンジ」より南へ約3km	加西市の美術品蒐集家、千石唯司氏から寄贈を受けたコレクションを中心に展示しています。 千石コレクションの中核をなすのは300面を超える古代中国鏡で、二里頭文化(夏)の時代(約3,700年前)から宋時代(約1,000年前)までを網羅し、質・量ともに充実した、鏡の文化を知るうえで極めて重要な資料です。
加東市 ⑭	かこがわりのうきたきのれきしんぞくしりょうかん 加古川流域滝野歴史民俗資料館 加東市下滝野1369 Tel 0795-48-3422	9時~17時 (入館は16時30分まで)  【100円→無料】	月曜日、祝日及び月曜日が祝日の場合はその翌日  12月28日~ 1月3日	○JR加古川線「滝野(たきの)駅」下車、徒歩15分	加古川を航行した高瀬舟並びに加古川流域の生活・歴史文化に関する資料を収集・保存・展示。
姫路市 ⑮	ひょうごけんりつれきしはくぶつかん 兵庫県立歴史博物館 姫路市本町68 Tel 079-288-9011	10時~17時 (入館は16時30分まで)  【大学生150円→無料】 ※特別展、企画展にいつでも無料	月曜日(祝日の場合は翌平日)  年末年始	○JR姫路駅・山陽電車山陽姫路駅から神姫バス「姫路医療センター経由系統」で約8分、「姫山公園北・博物館前」で下車または城周辺観光ループバスで約8分、「博物館前」下車	姫路城のすぐ北側に位置する博物館です。姫路城などの城郭・祭り・子ども文化等に関する展示をしており、さまざまな日本の歴史と文化に触れることができます。故丹下健三氏の基本設計による当館の建築は、ガラス面に映る姫路城が絶景ポイントです。
	ひめじじょう 姫路城 姫路市本町68 Tel 079-285-1146	9時~17時(最終入城受付16時)  【大学生1,000円、高校生300円→無料】	12月29日~30日	○JR「姫路(ひめじ)駅」下車、徒歩20分 ○JR「姫路駅」下車、バス(5分)「姫路城大手門前」下車、徒歩5分	法隆寺とともに、日本で初めて世界文化遺産に登録された、日本を代表する最も完成された城郭建築。
	ひめじしへいわしりょうかん 姫路市平和資料館 姫路市西延末475 Tel 079-291-2525	9時30分~17時 (入館は16時30分まで)  【大学生・高校生 250円→無料】 ※企画展も無料	月曜日(祝日の場合は翌日)  祝日の翌日(土日曜、祝日を除く)  年末年始(12月28日~1月5日)	○山陽電車「手柄(てがら)駅」下車、西へ徒歩15分 ○JR「姫路(ひめじ)駅」下車、駅南口からバス(7分)「西延末・姫路市立水族館北(にしのみづえひめじしりつすいぞくかんだ)」下車、山上へ徒歩15分	常設展「美しい城下町・姫路」覆われた姫路城「炎の中の姫路城」「よみがえる姫路城」「平和を祈って」という五つのテーマで戦前・戦中・戦後の姫路を写真・パネルや現物資料で紹介。防空壕や居間も再現、空襲を疑似体験できるコーナーもあります。また、春季・秋季企画展など年4回の企画展を開催。

	施設名称/所在地・電話番号	開館時間 【通常の入場料→春明後の入場料】	休館日	行き方	紹介
姫路市 ⑮	ひめじょうにしおやしきあとていえんこうえん 姫路城西御屋敷跡庭園好古園 姫路市本町68 TEL 079-289-4120	9時～17時 (入園は16時30分まで) ※季節により時間延長 があります  【大学生310円、高校生150円→無料】	12月29日・30日	○JR・山陽電車「姫路ひめじ」駅下車、徒歩15分 ○JR・山陽電車「姫路ひめじ」駅下車、バス(5分) 「聴覚特別支援学校・好古園前(ちようかくとくべつしえんがっこうこうえんまえ)」下車、徒歩5分	世界文化遺産国宝姫路城を借景し、姫路市制百周年を記念して造営、開園した池泉回遊式の日本庭園。 園内ではレストランで食事ができるほか、茶室で呈茶を楽しむことができる。
	ひめじしりつびじゅつかん 姫路市立美術館 姫路市本町68-25 TEL 079-222-2288	10時～17時 (入館は16時30分まで)  【150円→無料】 ※特別展は有料	毎週月曜日(祝日・休日の場合を除く)	○JR・山陽電鉄「姫路ひめじ」駅下車、バス(6分) 「姫山公園南・医療センター・美術館前ひめやまこうえんみなみいりょうせんたーびじゅつかんまえ)」下車すぐ ○徒歩の場合は、「姫路ひめじ」駅より20分	世界文化遺産に登録された、国宝姫路城の東隣にあるレンガ造りの美術館。日本画、油彩、水彩、素描、版画、彫刻、工芸など多彩な分野を網羅しており、郷土作家をはじめ、橋本閑雪や村上華岳などの作品も収蔵している。 また、ベルギーの作家の収蔵も多く、中でも、ポール・デルヴォーやルネ・マグリットの油彩、版画が目をひく。 常設展示室、企画展示室、ギャラリーなどの展示スペースがあり、年間を通してさまざまな展覧会を開催している。広い芝生の前庭には、彫刻などが配置され、散歩しながら芸術鑑賞が楽しめる。
	ひめじししよしゃのさとびじゅつこうげいかん 姫路市書写の里・美術工芸館 姫路市書写1223 TEL 079-267-0301	10時～17時 (入館は16時30分まで)  【300円→無料】	月曜日(休日の場合は翌日)  休日の翌日(土・日曜日を除く)  年末年始(12月25日～1月5日)	○JR・山陽電鉄「姫路ひめじ」駅下車、バス(25分)「書写山ロープウェイ(しよしゃざんろーぷうえい)」下車、徒歩3分	階段上に並ぶ約300体の泥仏、壺や皿、書画など個性あふれる元東大寺別当(華厳宗管長)・清水公照の作品、全国の郷土玩具、地元の工芸品を展示。そのほか、はりこやこまなどの伝統工芸品の製作実演コーナー(実演日要確認)や絵付け体験コーナーがある。
	ひめじぶんがくかん 姫路文学館 姫路市山野井町84 TEL 079-293-8228	10時～17時 (入館は16時30分まで)  【300円→無料】 ※特別展は別料金要	月曜日(祝日を除く)  祝日の翌日(土・日曜日を除く)  12月25日～1月5日	○JR・山陽「姫路(ひめじ)駅」下車、バス(6分)「市之橋文学館前いちのはしぶんがくかんまえ)」下車、徒歩4分	姫路を中心とした播磨ゆかりの文人たちを顕彰し、資料の収集及び調査・研究を目的として開館。世界文化遺産・国宝姫路城北西にある安藤忠雄氏設計のユニークなデザインの建物。北館には、「姫路城歴史ものがたり回廊」や「ことばの森展示室」、南館には、「司馬遼太郎記念室」、図書室やカフェがある。
	こうえきざいざんほうじんえんざんきねんにほんこうげいびじゅつかん 公益財団法人圓山記念日本工芸美術館 姫路市西今宿1-1-8 TEL 079-292-3433	10時～17時 (入館は16時30分まで)  【大学生500円、高校生500円→無料】 ※特別展は有料	月曜日(祝日の場合は翌日)  年末年始  ※臨時休館する場合があります	○JR「姫路(ひめじ)駅」下車、バス(10分)「琴丘高校前(ことがおかこうこうまえ)」下車、徒歩2分	松田権六、香取正彦等の漆工、金工、木竹工、陶芸、染織、和紙と広い範囲にわたる人間国宝の作品をはじめ、古ジャワ更紗(さらさ)やポロブドゥル関係資料を展示。また、工芸実技講座、美術講座なども開催。 <b>※工芸実習を希望する場合、事前連絡が必要</b>
	にほんがぐんぐはくぶつかん 日本玩具博物館 姫路市香寺町中仁野671-3 TEL 079-232-4388	10時～17時  【400円→360円】	水曜日(祝日は開館)  12月28日～1月3日	○JR播但線「香呂(こうろ)」駅下車、徒歩約15分	白壁土蔵造りの6棟からなり、日本の郷土玩具や駄菓子屋の玩具、近代玩具、世界16カ国の玩具と人形など、総数9万点の収蔵。常時5,000点を展示。 ミシュラン・グリーンガイド2つ星に選定。

	施設名称/所在地・電話番号	開館時間 【通常の入場→春月後の入場】	休館日	行き方	紹介
たつの市 ⑬	うすくちたつのしょうゆしりょうかん うすくち龍野醤油資料館 たつの市龍野町大手54-1 TEL 0791-63-4573	9時～17時 (入館は16時30分まで) 【10円→無料】	月曜日(祝日の場合は翌日 年末年始 (要問合せ))	○JR姫新線「本竜野(ほんたつの)駅」下車、徒歩20分	龍野でしょうゆづくりが始まったのは約400年前からであり、代々しょうゆをつくり継いできた先人の工夫や愛情、古い道具や文書などを中心に展示している。
	かじょうかんやのかんじきねんかん 霞城館・矢野勘治記念館 たつの市龍野町上霞城30-3 TEL 0791-63-2900	9時30分～17時 (入館は16時30分まで) 【100円→無料】	月曜日(祝日の場合は開館、祝祭日の翌日と、翌々日は休館)	○JR姫新線「本竜野(ほんたつの)駅」下車、徒歩20分	龍野が生んだ現代の文化人、三木露風、内海青潮、矢野勘治、三木清ら4氏に関する文献や資料を収蔵・展示。
	いほのいとしりょうかんそうめんのさと 揖保乃糸資料館そうめんの里 たつの市神岡町奥村56 TEL 0791-65-9000	9時～17時 (入館は16時30分まで) 【大学生300円・高校生200円→無料】	月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始	○JR姫新線「東薨崎(ひがしはしき)駅」下車、徒歩15分	播磨の地に生まれ育った手延べそうめんを紹介し、その歴史ある伝統を学び、味わいを体験するテーマ館。
	たつのしりつたつのれきしぶんかしりょうかん たつの市立龍野歴史文化資料館 たつの市龍野町上霞城128-3 TEL 0791-63-0907	9時～17時 (入館は16時30分まで) 【100円→無料】	月曜日(祝日の場合は翌日)、 祝日の翌日(土・月曜日にあたる場合は火・水曜日)、12月27日～1月4日、 特別展の前後	○JR姫新線「本竜野(ほんたつの)駅」下車、徒歩20分	たつの市及び周辺の原始古代から近世までの流れを、「原始古代の龍野」「古代の山陽道」「中世の筑紫大道」「龍野城主と城下町」「近世の街道と揖保川」の五つのテーマに分け時代順に紹介。年1回、特別展を開催。
	たつのしりつむろつみんぞくかん たつの市立室津民俗館 たつの市御津町室津306 TEL 079-324-0650	9時30分～17時 (入館は16時30分まで) 【200円→無料】	月曜日(祝日を除く)、 祝日の翌日(土・日・祝日を除く)、 毎月末日(土・日曜の場合は開館)、 12月28日～1月4日	○山陽電鉄「山陽網干(あほし)駅」下車、神姫バス市民病院経由大浦行き(25分)「室津(むろつ)」下車、徒歩7分。 路線バスが運行していない時間帯は、市民乗り合いタクシー「あかねちゃん」をご利用ください。(要予約)	江戸時代、海産物問屋として富をなした豪商「魚屋」の建物。建物の保存を主目的とした資料館で、室津の歴史や民俗関連の資料を展示している。
	たつのしりつむろつかいえきかん たつの市立室津海駅館 たつの市御津町室津457 TEL 079-324-0595	9時30分～17時 (入館は16時30分まで) 【200円→無料】	月曜日(祝日を除く)、 祝日の翌日(土・日・祝日を除く)、 毎月末日(土・日曜の場合は開館)、 12月28日～1月4日	○山陽電鉄「山陽網干(あほし)駅」下車、神姫バス市民病院経由大浦行き(25分)「室津(むろつ)」下車、徒歩5分。 路線バスが運行していない時間帯は、市民乗り合いタクシー「あかねちゃん」をご利用ください。(要予約)	江戸時代、廻船業で富をなした豪商「嶋屋」の建物。海の宿駅として栄えた室津を知ってもらうため、廻船、参勤交代、江戸参府、朝鮮通信使の四つのテーマで資料を展示している。
赤穂市 ⑭	あこうしりつれきしほくぶつかん 赤穂市立歴史博物館 赤穂市上仮屋916-1 TEL 0791-43-4600	9時～17時 (入館は16時30分まで) 【200円→無料】	水曜日(祝日の場合は翌日)、 12月28日～1月4日、	○JR「播州赤穂(ほんしゅうあこう)駅」下車、徒歩約20分	国指定重要有形民俗文化財の製塩用具を中心に、映像や模型、絵画、出土遺物等を「赤穂の塩」「赤穂の城と城下町」「赤穂義士」「日赤穂上水道」の四つのテーマで展示。
	あこうしりつみんぞくしりょうかん 赤穂市立民俗資料館 赤穂市加里屋805-2 TEL 0791-42-1361	9時～17時 (入館は16時30分まで) 【100円→無料】	水曜日(祝日の場合は翌日)、 12月28日～1月4日	○JR「播州赤穂(ほんしゅうあこう)駅」下車、徒歩約25分	建物は、明治時代の赤穂塩務局の庁舎を利用しており、兵庫県指定の重要有形文化財に指定されている。 江戸時代から昭和40年代の赤穂で使われた日常生活用具や農耕生産用具などを中心に、8,000点を超えるさまざまな資料を収蔵・展示。

	施設名称/所在地・電話番号	開館時間 【通常の入場→夜明け後の入場】	休館日	行き方	紹介
赤穂市 ○	おおいしじんじやぎしりょうかん 大石神社義士史料館 赤穂市上仮屋日城内 Tel 0791-42-2054	8時30分～17時  【500円→無料】	年中無休	○JR「播州赤穂(ぼんしゅうあこう)駅」下車、徒歩10分	赤穂城三の丸の大石内蔵助をはじめ四十七士をまつる大石神社の境内にあり、義士の遺品、忠臣蔵の浮世絵筆を展示した宝物殿、同別館、義士の木像を納めた義士木像奉安殿、国指定史跡の大石邸長屋門、庭園が拝観できる。
	かがくじほうもつかんぎしもくぞうどう 花岳寺宝物館・義士木像堂 赤穂市加里屋1992 Tel 0791-42-2068	9時～16時  【400円→無料】	年中無休	○JR「播州赤穂(ぼんしゅうあこう)駅」下車、徒歩10分	赤穂藩歴代藩主の菩提寺。浅野家と赤穂義士に関する貴重な資料を展示。境内には浅野家霊廟(れいびょう)や義士の墓所等もあり、赤穂義士ゆかりの史跡である。
	あこうしりつびじゅつこうがい かんたぶちきねんかん 赤穂市立美術工芸館田淵記念館 赤穂市御崎314-10 Tel 0791-42-0520	9時～17時 (入館は16時30分まで)  【200円→無料】	火曜日(祝日の場合は翌日)  年末年始(12月28日～1月4日)	○JR「播州赤穂(ぼんしゅうあこう)駅」下車、バス(15分)「川口町東停留所(かわぐちちやうひがしりゅうじよ)下車すぐ」	当地で江戸時代前期より塩田、塩問屋などを営んできた「田淵家」より赤穂市に寄贈された美術品、古文書類を展示。美術品は、日本画、書、茶道具、婚礼道具など多岐にわたっている。
宍粟市 ⑱	しろうしきしりょうかん 宍粟市歴史資料館 宍粟市一宮町三方町633 Tel 0790-74-8855	9時～17時 (入館は16時30分まで)  【300円→無料】	月曜日(祝日の場合は除く) 祝日の翌日 年末年始	○バス「家原遺跡公園(えばらいせきこうえん)」下車、徒歩5分 ○中国自動車道「山崎(やまさき)インターチェンジ」より車で40分	大規模な複合集落跡である家原遺跡の各時代の復元住居を復元し、「古代の村」を再現。資料館では、家原遺跡の出土品を中心に一宮地区の歴史を展示。
太子町 ⑲	たいしちやうりつれきしりょうかん 太子町立歴史資料館 揖保郡太子町鶴1310-1 Tel 079-277-5100	10時～18時 (入館は17時30分まで)  【常設展は無料、企画展は有料→無料】	火曜日  祝日の翌日  12月29日～1月3日	○JR「網干(あほし)駅」下車、バス「鶴(つる)いかかり」下車すぐ	聖徳太子ゆかりの法隆寺鶴岡荘と山陽道鶴岡を中心、豊富な埋蔵文化財などを常設展示するとともに、企画展を年1回、歴史講座を毎月1回開催し、地域の歴史や文化について紹介しています。
佐用町 ⑳	さようちやうりつひらふくきやうどかん 佐用町立平福郷土館 佐用郡佐用町平福594 Tel 0790-83-2635	9時～16時  【大学生200円・高校生100円→無料】	月～金曜日 (土・日・祝日のみ開館)  12月29日～1月3日	○智頭急行「平福(ひらふく)駅」下車、徒歩7分	江戸時代に建てられた南新町、瓜生原家の建築様式を再現した建物で、館内には主として宿場町ひらふくを象徴とする商家などの商いの用具や民具類を展示するほか、利神城跡の資料・パネルなどを展示している。
	こうづきれきしりょうかん 上月歴史資料館 佐用郡佐用町上月373 Tel 0790-86-1616	10時～16時  【大学生200円・高校生150円→無料】	月～金曜日 (土・日・祝日のみ開館)  12月29日～1月3日	○JR姫新線「上月(こうづき)駅」下車、徒歩10分 ○智頭急行「久崎(くさき)駅」下車、車で5分 ○佐用(さよう)インターチェンジから車で約10分	戦国時代の天正5年(1577)から6年にかけて織田勢と毛利勢の合戦の舞台となった上月城跡がある公園内にあり、明治の中頃から作られていた早瀬土人形や、古く中世から作られていた皆田紙等、この地域の歴史資料を展示。また、併設して附属施設の紙すき文化伝承館があり、紙すき道具などの見学ができる。冬期には地元の有志団体が紙すき作業を行っている。
豊岡市 ㉑	ひやうこけんりつまるやまがわこうえんびじゅつかん 兵庫県立円山川公苑美術館 豊岡市小島1163 Tel 0796-28-3085 http://www.maruyamagawa.com	9時～17時  【大学生350円→無料】	月曜日(祝日の場合は翌日が休苑日)  5月～10月と冬休み期間は無休。但し、12/31・1/1は休苑日。	○JR「城崎温泉(きのさきおんせん)駅」下車、駅前から全但バス日和山行「小島(おしま)」(6分)下車、徒歩20分  ○JR「城崎温泉(きのさきおんせん)駅」からレンタサイクルで約23分	国立公園・山陰海岸ジオパーク内の円山川河口にある。日本の神話「古事記」では、天日槍(あめのひぼこ)が活躍した所。豊かな自然の中でゆったりと散策できます。美術館は年間通じて様々な企画展を実施。春・夏・秋はカヌー・カヤック・カッター体験、芝生の憩い広場、7月上旬～8月末はプール、11月下旬～3月上旬はアイススケートができます。

	施設名称/所在地・電話番号	開館時間 【通常の入場→夜明け後の入場】	休館日	行き方	紹介
豊岡市 ②1	げんぶどうみゅーじあむ 玄武洞ミュージアム 豊岡市赤石1362 TEL 0796-23-3821	9時～17時  【高校生・大学生800円→400円】 特別展は別途料金をいただきます。	12月31日、1月1日、1月15日、1月22日、1月29日	○JR「玄武洞(げんぶどう)駅」下車、渡し船で7分 ○JR「城崎温泉(きのさきおんせん)駅」下車、タクシーで10分	ジオパークに認定されている「玄武洞」の歴史から、生命の歴史を紹介している地質の博物館です。世界の宝石や鉱物、奇岩、化石を常時2500点以上展示。伝統的工芸品「豊岡柶柳細工」の展示も充実し、天然石や柳の製作体験をお楽しみいただけます。
	とよおかしりつたけのかやみなとかん 豊岡市立竹野川湊館 豊岡市竹野町竹野422 TEL 0796-47-1555	9時～17時 (入館は16時30分まで)  無料	水曜日  12月29日～1月3日	○JR山陰本線「竹野(たけの)駅」下車、徒歩15分	竹野浜地域の町並み形成に大きな影響を与えた川湊の変遷を紹介しています。また、日本のかな書道の重鎮であった竹野町出身かな書道家 仲田光成の作品を常設展示しています。
	とよおかしりつびじゅつかん いとうきよながきねんかん 豊岡市立美術館 —伊藤清永記念館— 豊岡市出石町内町98 TEL 0796-52-5456 <a href="https://www.city.toyooka.lg.jp/1019810/1019847/itoh-museum/index.html">https://www.city.toyooka.lg.jp/1019810/1019847/itoh-museum/index.html</a>	9時30分～17時 (入館は16時30分まで)  【高校生・大学生 300円→無料】 ※特別展は減免対象外	毎週水曜日(祝日の場合は翌日)  年末年始(12月28日～1月4日)  展示替え期間	○JR山陰本線「豊岡(とよおか)駅」から、全但バス出石行「出石営業所(いずしえいぎょうしょ)」下車、徒歩約5分	豊岡市(出石町)出身で文化勲章を受章した洋画家、伊藤清永など豊岡ゆかりの芸術家による作品を展示するほか、年2～3回の特別展を実施しています。
	とよおかしりつしずしかりょうやしき 豊岡市立出石家老屋敷 豊岡市出石町内町98-9 TEL 0796-52-3416	9時30分～17時 (入館は16時30分まで)  【高校生・大学生120円→無料】	毎週水曜 11月3日(祝)、12月28日～1月4日	○JR山陰本線「豊岡(とよおか)駅」から、全但バス出石行「出石営業所(いずしえいぎょうしょ)」下車、徒歩約5分	この屋敷は出石城の内堀の中にあつた上級武士の居宅として使われていた建物で、江戸時代の三大お家騒動の一つ「仙石騒動」の中心人物の仙石左京の屋敷跡ともいわれ、屋敷内には江戸時代の大行列諸道具などが展示されている。
	とよおかしりつしずしりょうかん 豊岡市立出石史料館 豊岡市出石町青田78 TEL 0796-52-6556	9時30分～17時 (入館は16時30分まで)  【高校生・大学生 180円→無料】	火曜日 12月28日～1月4日	○JR山陰本線「豊岡(とよおか)駅」から、全但バス出石行「出石営業所(いずしえいぎょうしょ)」下車、徒歩約7分	出石町指定文化財である1階富家住宅をはじめ出石の町屋を見学できる施設として開館。 また、館内には出石藩ゆかりの資料も展示しています。
	とよおかしりつしずしめいじかん 豊岡市立出石明治館 豊岡市出石町魚屋50 TEL 0796-52-2353	9時30分～17時 (入館は16時30分まで)  【高校生・大学生120円→無料】	毎週月曜日(祝日の場合は翌日)  12月28日～1月4日	○JR山陰本線「豊岡(とよおか)駅」から、全但バス出石行「出石営業所(いずしえいぎょうしょ)」下車、徒歩約7分	1887年に建築された建物で、正面玄関の柱頭にはコリント風の装飾彫刻がみられる明治期の擬洋風建築物で、現在1階には「歴史を彩った出石の人物展」「大友工投手展示室」「出石鳥瞰マップ」などを常設展示。
	とよおかしりつにほんもんごるみんぞくはくぶつかん 豊岡市立日本・モンゴル民族博物館 豊岡市但東町中山711 TEL 0796-56-1000 <a href="http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/">http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/</a>	9時30分～17時 (入館は16時30分まで)  【高校生・大学生 300円→無料】	水曜日(祝日の場合は翌日)  年末年始(12月28日～1月4日)	○JR「豊岡(とよおか)駅」下車、全但バス 奥藤行き(60分)「モンゴル博物館前(はくぶつかんまえ)」下車、徒歩2分	常設展示では、モンゴルに関する資料(歴史、生活、宗教など)約5千点を展示し、遊牧民たちのゲルを再現するなど、これまで(に)書物や写真でしか見ることのできなかった“遊牧民の生活”を体感できます。
	とよおかしりつれきしはくぶつかん たじまこくふこくぶんじかん 豊岡市立歴史博物館—但馬国府・国分寺館— 豊岡市日高町柿布808 TEL 0796-42-6111 <a href="http://www3.city.toyooka.lg.jp/okubunjikan/">http://www3.city.toyooka.lg.jp/okubunjikan/</a>	9時～17時(入館は16時30分まで)  【高校生・大学生300円→無料】	水曜日(祝日は開館、翌日休館)  年末年始(12月28日～1月4日)	○北近畿豊岡自動車道「日高神鍋高原(ひたかかんなべこうげん)インターチェンジ」下車、右へ約500m ○JR山陰本線「江原(えはら)駅」下車、西へ徒歩約15分	国史跡・但馬国分寺跡、但馬国府跡近くに建ち、各時代の人々の暮らしぶりを描いた絵とともに木簡や土器など多くの貴重な資料を展示。豊岡の歴史にふれることができ、勾玉や土器作りなども体験できます。

	施設名称/所在地・電話番号	開館時間 【通常の入場→春明後の入場】	休館日	行き方	紹介
豊岡市 ②①	とよおかしりつしずえいらくかん 豊岡市立出石永楽館 豊岡市出石町柳17-2 Tel 0796-52-5300 http://eirakukan.com/	9時30分~17時(入館は16時30分まで) 【高校生・大学生240円→190円】	毎週木曜日、12月31日、1月1日、貸館・興行日	○JR山陰本線「豊岡駅」下車。全但バス出石行「出石営業所」下車、徒歩約5分	近畿に現存する最古(明治34年築)の芝居小屋を復元しました。花道、奈落、すっぽんなどの舞台装置の見学や、回り舞台の見学ができます。
養父市 ②②	やぶしりつおおしょうやきねんかん (きゅうながしまけじゅうたく) 養父市立大庄屋記念館 (旧長島家住宅) 養父市小城 Tel 079-664-1628(教育委員会)	土曜日、日曜日 10時~16時 【200円→無料】	*月曜日~金曜日閉館 12月16日~3月31日は閉館  ※事前連絡により団体見学は受け入れ可	○JR「八鹿(ようか)駅」下車、バス(12分)「小城(じょう)」下車、徒歩 10分	江戸時代後期に出石藩の大庄屋を勤めた長島家住宅をそのまま利用。豪壮なたずまいは、明治・大正期の豪農の生活ぶりをうかがい知ることができる。日常生活用具などととも農人形を展示している。
	おくめいじしぜんたいけんしせつ めいじきらら 奥米地自然体験施設 めいじキララ 養父市奥米地773 Tel 079-665-0588	10時~16時 【200円→無料】 ※食事、宿泊等施設の利用者に限る	毎週火曜日  年末年始	○JR「八鹿(ようか)駅」下車、車で15分	ホテル、奥米地の自然について学べる施設。1階は情報コーナー・研修室、2階はホテルの体験・学習コーナーに加え、奥米地の歳時精をパネルで紹介。
	やまだふうたろうきねんかん 山田風太郎記念館 養父市関宮605-1 Tel 079-663-5522	10時~17時 (入館は16時30分まで) 【300円→無料】	月曜日(祝日の場合は翌日)  年末年始  陳列替え期間	○JR山陰線「八鹿(ようか)駅」下車、全但バス(鉢伏・村岡方面行き)約25分「関宮バス停」下車徒歩3分	山田風太郎記念館は、作家・山田風太郎が築き上げた作品世界を、自筆原稿、創作ノート、愛用品などの資料で紹介しています。幼少時代から医科大学時代を中心に、その人となりを紹介し、併せて作家活動等も展示しています。
朝来市 ②③	あさごげいじゅつのもりびじゅつかん —よどいとしおきねんかん— あさご芸術の森美術館 —淀井敏夫記念館— 朝来市多々良木739-3 Tel 079-670-4111 http://www.city.asago.hyogo.jp/site/art-village/	10時~17時 (入館は16時30分まで) 【300円→無料】	水曜日(祝日の場合は閉館し、翌日休館)  祝日の翌日  12月25日~1月5日  展示替え日	○JR「新井(にい)駅」下車、タクシーで8分	広大な野外岡塚公園と屋内の美術館によって構成される新しい芸術空間。美術館には展示室とアトリエ室、芸術情報を提供する情報コーナーがあり、朝来市出身の文化勲章受章者淀井敏夫の生涯作品を屋内外に常設展示。
香美町 ②④	かみちょうりつむらおかみんぞくりょうかん まほろば 香美町立村岡民俗資料館 まほろば 美方郡香美町村岡区村岡2324-1 Tel 0796-98-1154	13時~17時 (火曜から金曜) 9時~17時 (土曜、日曜、祝日) 【大学生150円・高校生100円→無料】	月曜日、 年末年始(12月28日~1月3日)  国民の祝日(成人の日、子供の日、文化の日、および敬老の日を除く)	○JR山陰本線「八鹿(ようか)駅」下車、殿町行き、秋岡行き、または湯村温泉行きバスにて「殿町(とのまち)」下車すぐ(バス 約35分) ○北近畿豊岡自動車道八鹿水ノ山(ようかひょうのせん)インターチェンジから車で約30分	明治27年に建造され、旧美方郡の郡役所として使われていた木造西洋館(昭和三十六年解体復元)。町内から出土した縄文早期の石器や土器、淡い色と特徴あるデザインで兵庫県指定文化財(文堂古墳出土)の黄金色の太刀などの考古資料を展示しています。
新温泉町 ②⑤	おもしろこんちゅうかせきかん おもしろ昆虫化石館 美方郡新温泉町千谷850 Tel 0796-93-0888	9時~17時(入館は16時30分まで) 【100円→無料】	月曜日(祝日の場合はその翌日)  年末年始(12月29日~1月3日)	○JR「浜坂(はまさか)駅」下車、バス(25分)「八田(はった)コミュニティーセンター」下車 ○JR「八鹿(ようか)駅」下車、バス(80分)湯村温泉経由「八田(はった)コミュニティーセンター」下車	日本初の昆虫化石博物館。新温泉町内の昆虫化石や外国の化石を展示。

	施設名称/所在地・電話番号	開館時間 【通常の入場→夜明け後の入場】	休館日	行き方	紹介
新温泉町 25	はまさかせんじんきねんかん いめいてい 浜坂先人記念館 以命亭 美方郡新温泉町浜坂1208 Tel 0796-82-4490	9時～17時  【200円→無料】	木曜日(祝日の場合は翌日)  年末年始 (12月29日～1月3日)	○JR「浜坂(はまさか)駅」下車、徒歩10分	森家七釜屋を改修し、九代に及ぶ和歌・俳諧等の文化活動の足跡や生活用具を展示。 また先人紹介コーナーや元酒蔵のホール等、ゆったりとした雰囲気資料館。
丹波篠山市 26	ひょうごとうけいびじゅつかん 兵庫陶芸美術館 丹波篠山市今田町上立杭 4 Tel 079-597-3961 https://www.mcart.jp/	10時～18時  2024年5月28日から10時～17時  ※入館はいずれも閉館の30分前まで。  【展覧会ごとに異なる→無料】	月曜日(祝休日の場合は翌平日)  年末年始(12月31日～1月1日)	○JR福知山線「相野(あいの)駅」下車、ウイング神姫(路線バス)(15分) 兵庫陶芸美術館、こんだ薬師温泉または清水寺行きにて「兵庫陶芸美術館(ひょうごとうけいびじゅつかん)」下車すぐ ○舞鶴若狭自動車道三田西(さんだにし)インターチェンジから車で約15分、または丹波篠山口(たんなんささやまぐち)インターチェンジから車で約20分	日本六古窯の一つとして日本遺産に認定された丹波焼の里に立地。丹波焼の名品を常設展示しているほか、特別展として国内外の陶磁器等を展示している。陶芸ワークショップや展覧会に合わせた陶芸文化講座も開催。レストランを併設し、バスタを中心とした料理と丹波焼の里の眺望を楽しむことが出来る。 <b>※窓口で観覧券(招待券)をもらうこと</b>
	ささやまじょうおおしよいん 篠山城大書院 丹波篠山市北新町2-3 Tel 079-552-4500	9時～17時 (受付終了は16時30分)  【200円→無料】	月曜日(祝日の場合は翌日)  12月25日～1月1日	JR福知山線「篠山口(ささやまぐち)駅」下車、バス(15分)「二階町(にかいまち)」下車、徒歩5分	篠山城築城とほぼ同時に建てられ約260年間にわたって藩の公式行事などに使用された建物。2000年に復元された。
	たんばささやましりつれきしびじゅつかん 丹波篠山市立歴史美術館 丹波篠山市呉服町53 Tel 079-552-0601	9時～17時 (受付終了は16時30分)  【200円→無料】	月曜日(祝日の場合は翌日)  12月25日～1月1日	○JR福知山線「篠山口(ささやまぐち)駅」下車、バス(16分)「春日神社前(かすがじんじやまえ)」下車、徒歩1分	丹波篠山に伝わる武具、焼物、絵画などの美術品をはじめ古代からの文化を物語る埋蔵文化財などを展示。
	たんばささやましりつぶけやしきあんまけしりようかん 丹波篠山市立武家屋敷安間家史料館 丹波篠山市西新町95 Tel 079-552-6933	9時～17時 (受付終了は16時30分)  【100円→無料】	月曜日(祝日の場合は翌日)  12月25日～1月1日	○JR福知山線「篠山口(ささやまぐち)駅」下車、バス(15分)「二階町(にかいまち)」下車、徒歩15分	篠山藩青山家の家臣であった安間家ゆかりの武具や史料を中心に展示。庭園には、「水琴窟(すいきんくつ)」があり、美しい調べが聞けます。
	たんばささやましりつあおやまれきむら たんばささやまでかんしよかん 丹波篠山市立青山歴史村(丹波篠山デカンショ館) 丹波篠山市北新町48 Tel 079-552-0056	9時～17時 (受付終了は16時30分)  【200円→無料】	月曜日(祝日の場合は翌日)  12月25日～1月1日	○JR福知山線「篠山口(ささやまぐち)駅」下車、バス(15分)「二階町(にかいまち)」下車、徒歩5分	篠山藩政260年間の藩政史料や、篠山藩主青山家ゆかりの品々と篠山藩樹「振徳堂」で使われた版木などを展示・公開。
	たんばでんとうけいこうえん たちいすえのさと 丹波伝統工芸公園 立杭陶の郷 丹波篠山市今田町上立杭3 Tel 079-597-2034	10時～17時  【200円→無料】	火曜日(祝日は営業) 12月29日～1月1日	○JR福知山線「相野(あいの)駅」下車、バス(15分)「陶の郷前(すえのさとまえ)」下車、徒歩すぐ	鎌倉時代から江戸時代末までに生み出された「古丹波」の名品や現代丹波立杭焼作品の展示室、名窯工製品の展示即売場、気軽に陶芸体験が楽しめる陶芸教室、登り窯、レストランなどを配置。

	施設名称/所在地/電話番号	開館時間 [通常の入館→定月後の入館]	休館日	行き方	紹介
丹波市 27	たんばしりつかいばられきしみんぞくしりょうかん 丹波市立柏原歴史民俗資料館 丹波市柏原町柏原672 Tel 0795-73-0177	9時～17時(入館は16時30分まで)  【210円→無料】	毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)  12月29日～1月3日	OJR福知山線「柏原(かいばら)駅」下車、徒歩10分	柏原藩主、織田家伝来資料を中心に、柏原藩の歴史と文化について展示。館内に併設された田ステ女記念館では、柏原出身の江戸時代の俳人・田ステ女(でんすてじよ)の資料を展示している。
	たんばしりつうえのきねんびじゅつかん 丹波市立植野記念美術館 丹波市氷上町西中615-4 Tel 0795-82-5945	10時～17時(入館は16時30分まで)  【210円→無料】	毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)  12月29日～1月3日	OJR 福知山線「柏原(かいばら)駅(又は石生(いそう)駅)」下車後、ウイング神姫(バス)で(10分)「美術館前(びじゅつかんまえ)」すぐ ○神戸・大阪・豊岡・城崎から高速バスで氷上(ひかみ)バス停下車徒歩5分	中国現代絵画、中国景德鎮磁器・陶板、コンテンポラリー・アート、パプア・ニューギニア民族美術品、郷土ゆかりの作家(川端達次、常岡幹彦、安田鴨波・栗郷・虚心、丹阿弥丹波子・小川(芋)銭など)の作品など、約1,700点を収蔵。収蔵品展のほか、企画展・特別展を、様々なジャンルにわたって年数回開催している。
	たんばしりつかすがれきしみんぞくしりょうかん 丹波市立春日歴史民俗資料館 丹波市春日町黒井496-2 Tel 0795-70-0819 (教育委員会社会教育・文化財課)	9時～17時(入館は16時30分まで)  【210円→無料】  ※平日の入館は事前申し込みが必要です。教育委員会までご連絡ください。	毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)  12月29日～1月3日	OJR 福知山線「黒井(くろい)駅」下車、徒歩5分	野々間遺跡から出土した2個の銅鐸を中心として、春日地域の歴史とその文化遺産を収集・保存し、2万数千年の昔から人々の生活が営まれていた春日地域の歴史を四つのテーマで展示・解説。また、郷土資料館では、農具等の民俗資料を展示している。
	たんばしりつひかみかいらうみわかれふいーどみゆーじあむ 丹波市立氷上回廊水分れフィールドミュージアム 丹波市氷上町石生1155 Tel 0795-82-5912	10時～17時(入館は16時30分まで)  【210円→無料】	毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)  12月29日～1月3日	OJR 福知山線「石生(いそう)駅」下車、徒歩15分	本州一低い中央分水界の水分れと氷上回廊によって形作られた地形や歴史、自然環境を映像や模型、標本などで紹介
洲本市 28	すもとしりつあわじぶんかしりょうかん 洲本市立淡路文化史料館 洲本市山手1-1-27 Tel 0799-24-3331	9時～17時(入館は16時30分まで)  【300円→無料】	月曜日(月曜が祝休日のときは翌平日が休館)	○バス「洲本(すもと)バスセンター」下車、徒歩10分	考古・歴史資料のほか国指定重要無形民俗文化財である淡路人形浄瑠璃や全国的にも著名な珉平焼など、島の人と風土が生み出した美術工芸品や文芸品などを展示。
淡路市 29	あわじしほくたんれきしみんぞくしりょうかん 淡路市北淡歴史民俗資料館 淡路市浅野南240 Tel 0799-70-4135	9時～17時  【310円→無料】	月曜日(祝日の場合は翌平日)  12月28日～1月3日	○バス「浅野(あさの)」下車徒歩約3分 ○北淡(ほくたん)インターチェンジから車で約7分	保存館、展示館、収蔵庫の3棟からなり、保存館では江戸中期の農家の主屋を移築復元するとともに、展示館では淡路市内の祭り、民俗資料を展示している。
	ひょうごけんりつあわじゆめふたいこうえんおんしつあわじぐりーんかん 兵庫県立淡路夢舞台公苑温室あわじグリーン館 淡路市夢舞台4 Tel 0799-74-1200  ※2024年4月1日～2025年3月中旬頃まで、大規模修繕のため閉館。			OJR「舞子(まいこ)駅」、山陽電鉄「舞子公園(まいこうえん)駅」下車、高速バス(15分)「淡路夢舞台前(あわじゆめふたいまえ)」下車、徒歩すぐ OJR「三ノ宮(さんのみや)駅」、下車、高速バス(50分)「淡路夢舞台前(あわじゆめふたいまえ)」下車、徒歩すぐ	建築家・安藤忠雄氏が手掛けた高さ約20mの大空間を有する日本最大級の温室。植物の生きる姿を活かした立体的な展示と約3000種の植物、植物の生態を活かした様々な展示室があり、これらをひとつずつ楽しみながら散策できる回遊式のスタイルになっています。樹齢360年のアロエディゴトマや2億年前から変わらない姿のジュラシクツリー、高さ8mの成長するガーデンキャッスルなどわくわく楽しい展示が詰まった温室です。



	施設名称/所在地・電話番号	開館時間 【通常の入場→夜明け後の入場】	休館日	行き方	紹介
南あわじ市 30	あわじふるあーむぽーく いんぐらんとのおか 淡路ファームパーク イングランドの丘 南あわじ市八木養宜上1401 TEL 0799-43-2626	9時30分～17時  【1200円→無料】 ※特別展は有料	HPを参照ください。	○JR「舞子(まいこ)駅」下車、バス(55分)「洲本高速バスセンター(すもとこうそくばすせんたー)」下車、乗り換えバス(30分)「淡路ファームパークあわじふるあーむぽーく」下車すぐ	美しい自然の中で食べて、見て、体験できる農業公園。園内は二つのエリアに分かれており、職人自慢の食や農業体験、動物とのふれあいが楽しめる。
	うずしおかがかかん うずしお科学館 南あわじ市福良丙936-3 TEL 0799-52-2888	9時～16時30分(最終入場16時)  【大学生300円・高校生100円→無料】	2023年4月より無休	○淡路島南(あわじしまみなみ)インターチェンジから車で約2分	うず潮のメカニズムを大型水理模型やライブ映像、パネル展示などで紹介。
	みなみあわじしたきがわきねんびじゅつかん ぎょくせいかん 南あわじ市滝川記念美術館 玉青館 南あわじ市松帆西路1137-1 TEL 0799-36-2314	9時～17時 (入館は16時30分まで)  【200円→無料】	月曜日(祝日の場合は翌日)  年末年始	○西淡三原(せいだんみはら)インターチェンジから車で約5分 ○JR「舞子(まいこ)駅」下車で高速バス(約60分)または、JR「三ノ宮(さんのみや)駅」下車で高速バス(約70分)で「陸の港西淡(りくのみなとせいだん)」、らんらんバス(約5分)「玉青館前(ぎょくせいかんまえ)」より徒歩で約8分。	日本南画界の第一人者直原玉青の作品を中心にコレクションする現代南画の美術館。2階展示室には松帆鐘鐸などの歴史資料も展示。
	みなみあわじ あわじにんぎょうじょうりかかん 「あわじにんぎょうざ」 南あわじ市淡路人形浄瑠璃館 「淡路人形座」 南あわじ市福良甲1528-1地先 TEL 0799-52-0260	9時～17時 10時、11時10分、13時30分、15時の4回  【大学生1800円→900円・高校生1300円→650円】	水曜日 年末休館あり  (※出張公演等で休館の場合がありますので、施設に直接お問い合わせください。)	○西淡三原(せいだんみはら)インターチェンジから車で約15分  ○JR「舞子(まいこ)駅」下車で高速バス(約70分)または、JR「三ノ宮(さんのみや)駅」下車で、高速バス(約90分)で、「福良(ふくら)」下車、徒歩すぐ。	国指定重要無形民俗文化財「淡路人形浄瑠璃」がご覧いただける人形芝居専用劇場です。人形の仕組みの説明、人形芝居の鑑賞で約45分の公演を1日4回上演しています。
播磨町 31	ひょうごけんりつこうこはくぶつかん 兵庫県立考古博物館 加古郡播磨町大中1-1-1 TEL 079-437-5589	9時～17時 (有料ゾーンへの入場は9時30分～16時30分)  【大学生150円→無料】 ※特別展についても無料	月曜日(祝日の場合は翌平日) 年末年始	○JR 土山(つちやま)駅南出口から「であいのみち」徒歩15分 ○山陽電車播磨町(はりまちょう)駅から喜瀬川(きせがわ)沿いに徒歩25分 ○第2神明、加古川(かこがわ)バイパス明石西(あかしにし)インターチェンジから約3km	兵庫県の歴史を考古学で解き明かす展示室です。等身大のジオラマや映像は迫力満点！試したり触ったりできるアイテムで古代を体験しよう。古代のものづくり体験も毎日できます(一部有料)

## ◇ お し ら せ ◇

### ひょうご国際プラザ

留学生をはじめ外国人県民の活動支援、国際理解の推進、世界に向けた情報交流の推進拠点として「ひょうご国際プラザ」を設置しています。

主に次のような事業を実施しています。

- ◇ 日本語講座の実施（日本語の能力に合わせた講座の実施、夜間講座・夏期集中講座等を実施）
- ◇ 各種展示・イベントの実施
- ◇ 日本語学習教材を含む図書の開覧・貸し出し 等

〒651-0073

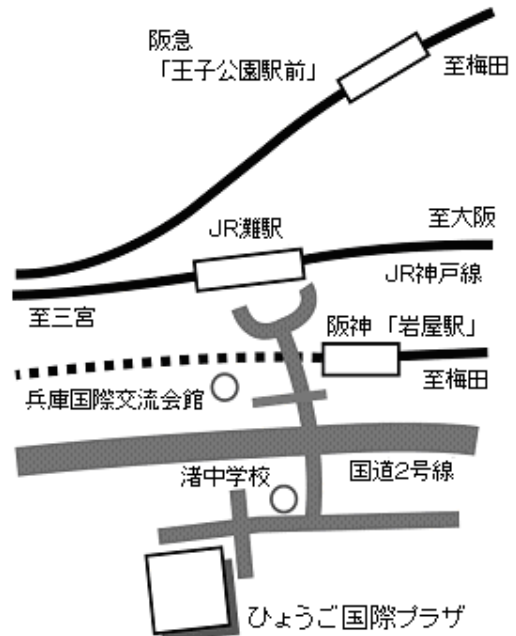
神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1

TEL 078-230-3060

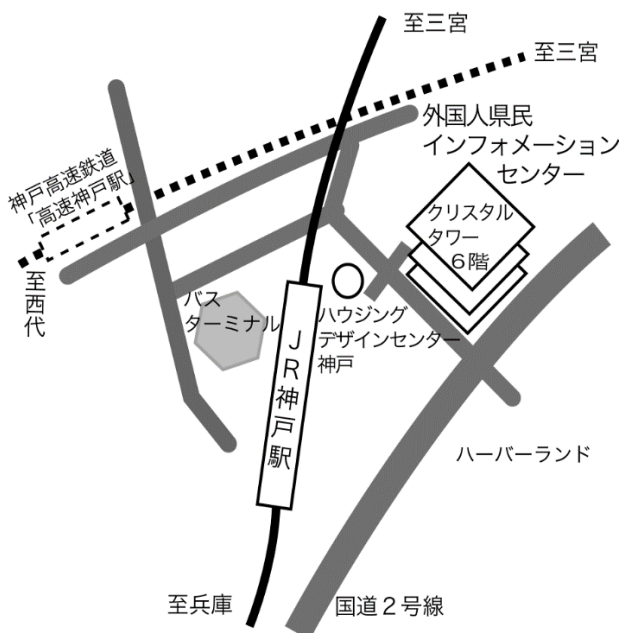
FAX 078-230-3280

URL:<http://www.hyogo-ip.or.jp>

E-mail :[hia-info@net.hyogo-ip.or.jp](mailto:hia-info@net.hyogo-ip.or.jp)



### 外国人県民インフォメーションセンター



留学生をはじめ外国人県民に対して、生活相談や専門的な法律相談などの相談を多言語（英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語）で対応するため「外国人県民インフォメーションセンター」を設置しています。

生活相談を月曜日から金曜日の 9:00～17:00 に実施しているほか、予約制で法律相談（毎週月曜日：13:00～15:00）も実施しています。相談は、電話でも受け付けています。

〒650-0044

神戸市中央区東川崎町 1-1-3

TEL 078-382-2052

FAX 078-382-2012